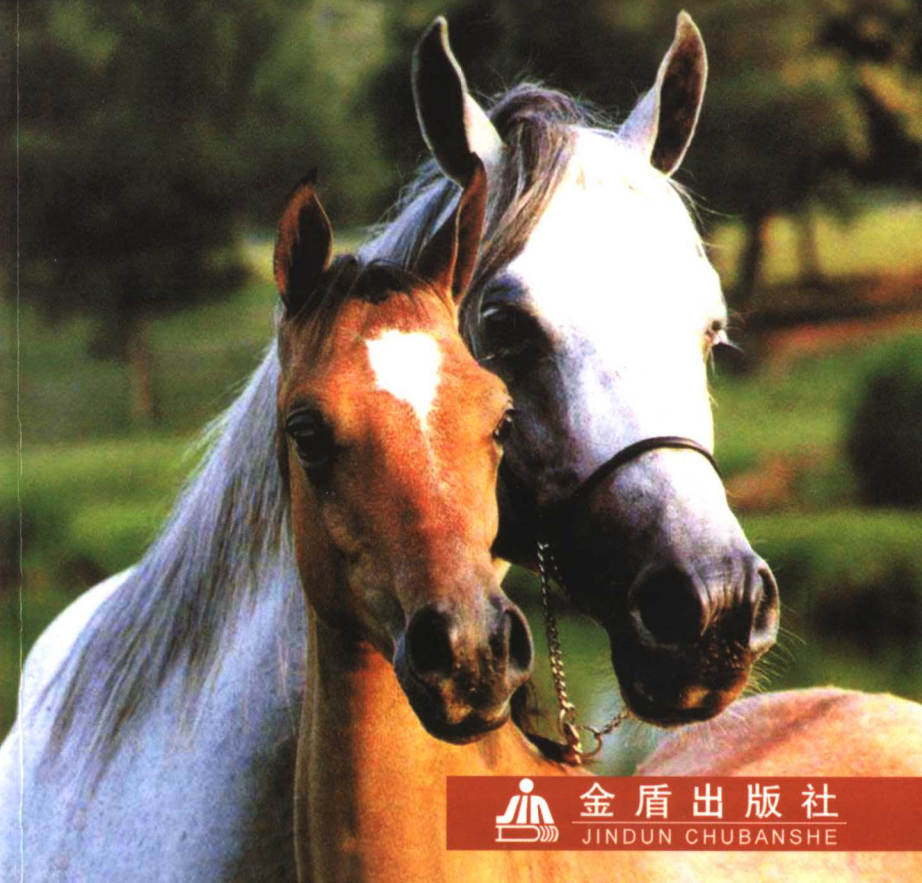


MABING FANGZHI SHOUCE

马病防治手册

丁 壮 周昌芳 李建华 主编



金盾出版社

JINDUN CHUBANSHE

马病防治手册

主 编

丁 壮 周昌芳 李建华

编著者

(以姓氏笔画为序)

申海青	冯 新	毕玉海
刘新鑫	宋战昀	李养贤
李志杰	张盛云	姜玉富
徐 明	常 爽	谢光洪

金 盾 出 版 社

内 容 提 要

本书由吉林大学畜牧兽医学院丁壮教授等编著。内容包括:马病的诊疗技术,马的 175 种主要传染病、寄生虫病、内科病、外科病、产科病和肢蹄病的病因、诊断要点和防治措施。内容丰富全面,语言通俗易懂。可供畜牧兽医工作者、马场生产技术人员、养马专业户和农业院校有关专业师生阅读参考。

图书在版编目(CIP)数据

马病防治手册/丁壮,周昌芳,李建华主编. —北京:金盾出版社,2006.9

ISBN 7-5082-4167-3

I. 马… II. ①丁…②周…③李… III. 马病-防治-手册
IV. S858.21-62

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 082341 号

金盾出版社出版、总发行

北京太平路 5 号(地铁万寿路站往南)

邮政编码:100036 电话:68214039 83219215

传真:68276683 网址:www.jdcbs.cn

彩色印刷:北京百花彩印有限公司

黑白印刷:北京天宝印刷厂

装订:海波装订厂

各地新华书店经销

开本:787×1092 1/32 印张:11.625 彩页:4 字数:256 千字

2006 年 9 月第 1 版第 1 次印刷

印数:1—11000 册 定价:13.00 元

(凡购买金盾出版社的图书,如有缺页、
倒页、脱页者,本社发行部负责调换)



皮肤鼻疽



肺脏有鼻疽结节
和鼻疽性肺炎



鼻中隔坏死性溃疡

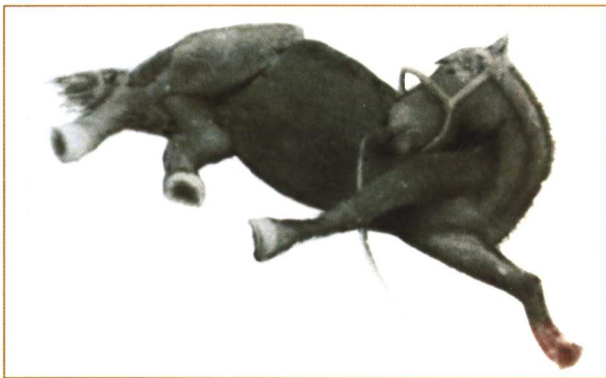


鼻疽菌素点
眼阳性反应

马流行性淋巴管炎
的前胸结节性溃疡



马流行性淋巴管炎的覃状溃疡



马流行性脑炎的
倒地、头后仰

马流行性脑炎的
两前肢姿势异常

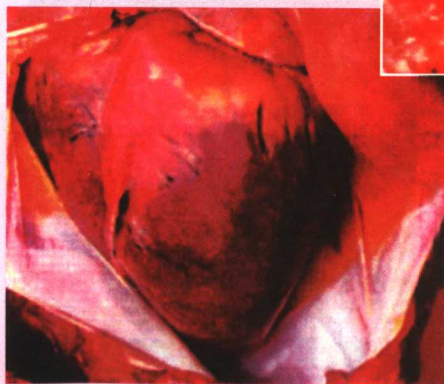


非洲马瘟病马头部严重肿胀



非洲马瘟病毒形态

非洲马瘟胃底部出血

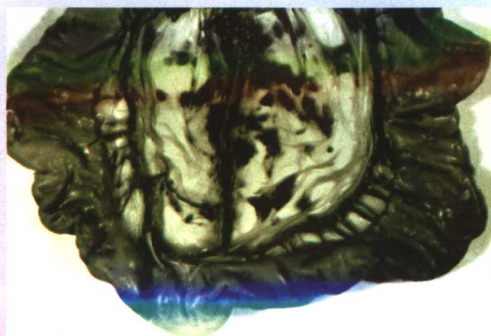


非洲马瘟心包积液



马传贫的豆蔻肝

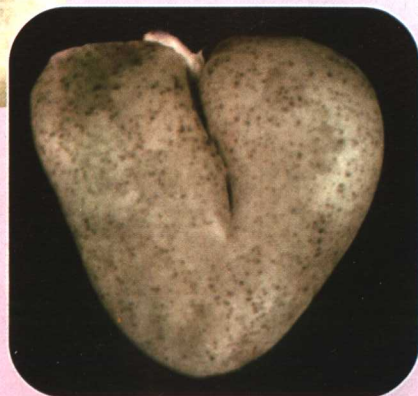
马传贫的肠系膜出血



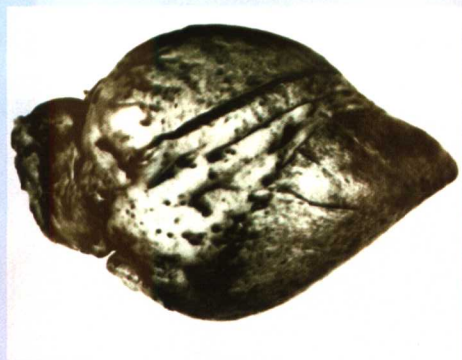
马传贫的槟榔肝



马传贫的肾表面出血

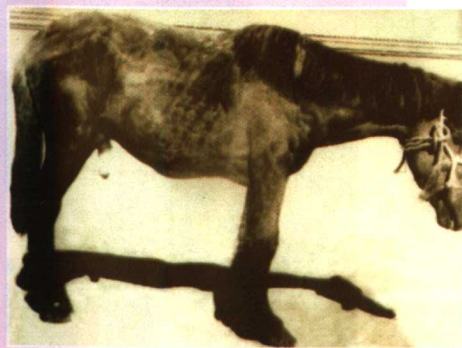


马传贫引起的消瘦、厌食



马传贫的心脏出血

马传贫的肾皮质出血

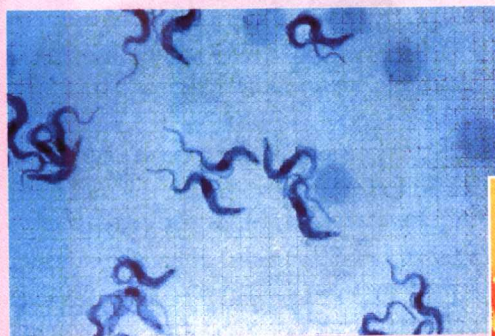


马传贫的腹下水肿



马腺疫病马颌下腺体肿大

普通圆线虫幼虫



伊氏锥虫



马胃蝇蛆

目 录

第一章 马病的诊疗技术	(1)
一、马的保定方法	(1)
(一)马的接近方法.....	(1)
(二)常用保定器具及其使用方法.....	(2)
(三)柱栏内保定法.....	(3)
(四)倒卧保定法.....	(4)
二、马的临床检查法和顺序	(5)
(一)临床检查的基本方法.....	(5)
(二)临床检查的顺序.....	(8)
(三)一般检查.....	(8)
三、马的给药方法.....	(10)
(一)经鼻投药法	(10)
(二)经口投药法	(13)
(三)经直肠投药法	(14)
(四)经皮肤给药法	(14)
(五)洗眼与点眼法	(14)
(六)口腔冲洗法	(15)
(七)注射法	(15)
第二章 马的常见传染病	(20)
马接触传染性子宫炎	(20)
流行性淋巴管炎	(29)
马传染性贫血	(34)
幼驹红球菌性肺炎 ...	(22)
马鼻肺炎	(39)
马传染性胸膜肺炎 ...	(25)
马传染性支气管炎 ...	(44)

马传染性脑脊髓炎 … (47)	马副伤寒 …………… (66)
马腺疫 …………… (51)	幼驹脓毒败血症 …… (69)
马鼻疽 …………… (53)	马破伤风 …………… (71)
马病毒性动脉炎 …… (56)	马布鲁氏菌病 …… (74)
马流行性感冒 …… (60)	马流行性乙型脑炎 … (76)
溃疡性淋巴管炎 …… (63)	马皮肤真菌病 …… (77)
马痘 …………… (64)	
第三章 马的常见寄生虫病 …………… (80)	
裸头绦虫病 …………… (80)	马梨形虫病 …………… (96)
马副蛔虫病 …………… (82)	马脑脊髓丝虫病 …… (99)
尖尾线虫病 …………… (84)	马副丝虫病………… (101)
圆形线虫病 …………… (85)	马媾疫………… (103)
马胃线虫病 …………… (87)	马螨病………… (105)
马胃蝇蛆病 …………… (89)	马蠓咬性皮炎………… (106)
安氏网尾线虫病 …… (91)	马浑睛虫病………… (107)
伊氏锥虫病 …………… (92)	马丝虫病………… (108)
第四章 马的常见内科病 ………… (110)	
口炎………… (110)	肠臌胀………… (131)
咽炎………… (112)	肠变位………… (133)
食管梗塞………… (113)	肠便秘………… (135)
食管炎………… (115)	胃肠破裂………… (139)
消化不良………… (116)	急性实质性肝炎………… (140)
胃肠炎………… (121)	腹膜炎………… (141)
急性出血性盲结肠炎	腹腔积水………… (142)
………… (124)	感冒………… (143)
急性胃扩张………… (127)	鼻炎………… (144)
肠痉挛………… (130)	鼻出血………… (145)

喉炎.....	(146)	急性过劳.....	(186)
急性支气管炎.....	(148)	麻痹性肌红蛋白尿病	
慢性支气管炎.....	(150)	(187)
支气管肺炎.....	(151)	营养衰竭症.....	(190)
大叶性肺炎	(153)	纤维性骨营养不良	
坏疽性肺炎.....	(156)	(191)
急性肺泡气肿	(157)	马趴窝病.....	(192)
慢性肺泡气肿.....	(159)	白肌病.....	(195)
肺充血和肺水肿.....	(160)	有机磷中毒.....	(196)
胸膜炎.....	(162)	有机氯中毒.....	(198)
胸腔积水.....	(164)	棉籽饼中毒.....	(199)
急性心力衰竭.....	(165)	菜籽饼中毒.....	(201)
慢性心力衰竭.....	(167)	蓖麻籽中毒.....	(201)
贫血.....	(168)	醉马草中毒.....	(203)
肾炎.....	(172)	砷中毒.....	(204)
肾病.....	(174)	铅中毒.....	(205)
膀胱炎.....	(175)	氟中毒.....	(206)
尿道炎.....	(177)	蜂毒中毒.....	(208)
尿结石.....	(178)	蛇毒中毒	(208)
脑膜脑炎.....	(179)	荨麻疹.....	(209)
脑震荡及脑挫伤.....	(181)	血斑病.....	(211)
脊髓及脊髓膜炎.....	(182)	中暑.....	(212)
癫痫.....	(183)	高山病.....	(214)
膈痉挛.....	(185)		
第五章 马的常见外科病.....	(217)		
脓肿.....	(217)	败血症.....	(220)
蜂窝织炎.....	(218)	创伤.....	(222)

挫伤····· (223)	鼻甲骨坏死····· (245)
血肿····· (224)	粉瘤····· (246)
淋巴外渗····· (225)	斜颈····· (247)
窦道和瘻····· (226)	颈静脉炎····· (247)
休克····· (228)	鞍挽具伤····· (249)
烧伤····· (229)	警甲肿和警甲痿····· (250)
毒伤····· (232)	胸壁挫伤····· (251)
结膜炎····· (232)	胸壁创伤····· (252)
角膜炎····· (233)	肋骨骨折····· (254)
牙齿磨灭不整····· (234)	腹壁创伤····· (255)
舌损伤····· (237)	外伤性腹壁疝····· (256)
颌前骨骨折····· (238)	脐疝····· (260)
下颌骨骨折····· (239)	腹股沟阴囊疝····· (261)
窦炎····· (240)	直肠脱····· (263)
面神经麻痹····· (242)	直肠破裂····· (266)
腮腺炎····· (244)	风湿病····· (267)
第六章 马的常见产科病 ····· (269)	
流产····· (269)	子宫破裂····· (289)
阴道出血····· (271)	产后截瘫····· (290)
阴道脱出····· (272)	妊娠毒血症····· (291)
胎水过多····· (274)	乳房炎····· (293)
妊娠水肿····· (275)	卵巢功能不全····· (295)
难产的助产及预防	排卵延迟及不排卵
····· (276)	····· (297)
子宫扭转····· (282)	新生马驹窒息····· (298)
胎衣不下····· (286)	新生马驹孱弱····· (299)
子宫内膜炎····· (288)	脐炎····· (300)

胎粪停滞.....	(301)	膀胱破裂.....	(303)
出血性紫癜.....	(302)	新生马驹溶血病.....	(304)
第七章 马的常见肢蹄病.....	(307)		
跛行的原因.....	(307)	腱断裂.....	(337)
跛行的种类.....	(308)	屈腱挛缩.....	(339)
跛行的诊断方法.....	(310)	腱鞘炎.....	(341)
骨折.....	(315)	黏液囊炎.....	(344)
骨膜炎.....	(321)	四肢神经麻痹概述	
关节创伤.....	(323)	(346)
关节扭伤.....	(325)	系部皮肤炎.....	(348)
关节脱位.....	(327)	系部坏死杆菌病.....	(352)
关节炎.....	(329)	象皮病.....	(353)
关节周围炎.....	(332)	蹄叶炎.....	(354)
腱炎.....	(336)	蹄叉腐烂.....	(356)
主要参考文献.....	(358)		

•

第一章 马病的诊疗技术

一、马的保定方法

为了饲养管理和诊治马病，必须要与马接触，与马接触就必须懂得马的习性。马与生人接触时，往往产生不安、戒备、逃跑或攻击等行为，这是马的自身防御本能。对马保定的基本要求，一是方便诊疗或手术的进行；二是要保证人马的安全。

(一) 马的接近方法

马不愿意与生人接近，接近时若动作粗暴，马会逃跑，甚至对来人进行攻击伤害。接近马时，要先发出信号，如发出“吁！吁！”或打口哨的声音。让马意识到人的存在，使其不感到突然或吃惊。再用草或料桶引诱，使其自动向人靠近。

接近马时，因为马有向后方蹴踢的防御能力，禁止从马的后方靠近。应从正前方或侧前方接近。从旁侧方接近时，也要警惕马后躯“急转弯”后的蹴踢动作。

当人需要在后方工作时，为了防止马蹴踢伤人，与马后躯要保持一定的距离，应在3米以外。马的后肢除有向后踢的功能外，还有向前、向外侧“弹”的功能，也应注意。

从前侧或左前侧接近马时，应在马的直视下从容走向马头。接近马头后，迅速抓住笼头，左手牵马，右手抚摸马的头部、颈部，以示安慰。当马出现竖耳、打响鼻、刨地时，是马紧

张吃惊的表现,应格外谨慎小心。马的体躯大,动作敏捷,又有力气,保定者不宜单靠力气去强行控制,应利用其自身的生物学特性,有策略的接近。

当需要牵马运动时,一般是用右手牵缰绳,馭手位于马的左前方。性情温驯的马匹,可将缰绳牵长些,性情不好的马匹,应将缰绳牵短些。有“扒”人恶癖的马匹,应将马头低牵,有踢人恶癖的马匹,应将马头高牵。

(二)常用保定器具及其使用方法

常用的保定器具有:笼头、勒、鼻捻棒、牛鼻钳、耳夹子、开口器、包头套及眼罩等。

1. 笼头和勒 笼头和勒是分别装在头部及两颊部的两种器具。勒常用于性情刚烈的马匹,因其较笼头的控制作用更强。

2. 鼻捻棒和牛鼻钳 鼻捻棒一般用于上唇,也可用于下唇或耳。使用时,先将鼻捻棒的绳套套于右(左)手指间或腕部,从马右(左)前方接近,左(右)手握住笼头,右(左)手抚摸马的鼻梁部并移至鼻端,握住上唇;左(右)手放开笼头,握取鼻捻棒,并将其移至上唇,迅速捻转木棒,使绳套紧缚上唇,以控制马匹的防御性活动。一般指定1人握住木棒保持之。使用牛鼻钳时,以左手握住上唇,右手持牛鼻钳,以钳嘴夹住上唇两侧而代替鼻捻棒。

应用此种保定,可施行注射、穿刺、切开脓肿、削蹄及某些检查等。

3. 耳夹 使用时,保定者左(右)手拿耳夹,面对马头站在其左(右)侧并握住笼头,右(左)手抚摸颈部,并逐渐前移,移至耳部时迅速抓住耳壳,左(右)手立即将耳夹夹于耳根部,

然后双手握紧耳夹保持之。

4. 开口器 常用的有以下 2 种。

(1) 单手开口器 使用时,一手抓住笼头,一手握住开口器的把柄,将开口器的另一端插入一侧上下白齿之间并保持之。

(2) 安全开口器 构造较为复杂,但装着后,以其附有的绳带系于颈部,不必用手保持固定亦不致于滑落;不损伤口腔黏膜;便于口腔内的检查及手术;安全可靠。

使用时应注意,将开口器的 2 个齿盘放在上、下颌切齿与切齿之间,旋转螺旋杆时不可过度,以免损伤下颌关节。

5. 包头套和眼罩 多用帆布或皮革制成,内面(尤其是在眼部)加绒布或棉纱衬里,其结构似民间的蒙眼。包头套能包盖全头部,其上有 2 个圆孔,可将两耳露出;眼罩仅覆盖两眼部。使用此器具可以减少胆小马匹对新环境的恐惧感。

(三) 柱栏内保定法

1. 六柱栏保定法 保定时,先关闭两前柱间的横档(铁杆、铁链或皮带),将马骡由六柱栏的两后柱间牵入后,再关闭两后柱间的横档。把缰绳系于门柱铁环上;分别用扁绳压住鬃甲前部及兜起胸、腹部,防止马匹跳起或卧下。必要时将头及尾部用细圆绳固定。

必须注意,绳端打结既要牢靠又要打成活结,以便随时迅速解脱。鬃甲部及胸、腹下固定用扁绳,一定要各自分开捆绑,保证安全。解除时,先解脱固定扁绳,再开放前柱间横档,将马由前方牵出。

2. 二柱栏保定法 适用于削、装蹄及其他诊疗操作。

保定时,先把马缰绳拴于前柱或横梁铁环上,用颈绳将颈部捆系在前柱的右侧(方法同单柱保定)。再装围绳,即将围